

(別添2)

事業評価の結果(内容評価項目)

福祉サービス種別 保育所
事業所名 上古田保育園

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【保育所】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 保育内容	(1) 全体的な計画の作成	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 2 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 3 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 5 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。	・山が近く、園庭に大きな銀杏の木と桜の木があり、自然に囲まれた環境を活かした「やま保育」を実践。天気の良い日は、園庭の遊びや散歩を楽しみ育てている。特に、冬はスケートを地域の方の協力のもとに実施している。 ・近くに小学校があり、一園一校で普段から連携している。 ・地域に根ざした保育園である。園庭で園児の歓声も、隣地の家から理解され協力がある。 ・保育指針に基づきランドデザインで全体の計画を立案、職員で共有実施している。
		(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。		<input checked="" type="checkbox"/> 6 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を、常に適切な状態に保持している。 <input checked="" type="checkbox"/> 7 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 8 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。	・木のぬくもりがそこかしこに感じられる保育環境の中、のびのび生活を送っている。クーラー設備や加湿空気清浄機の整備も行き届き、各年齢に応じてトイレや手洗いの衛生管理が行われている。 ・各クラス毎に毎月温度・湿度等の健康・衛生管理チェック表により適切な状態を保持している。 ・建物が古いため保育室等は灯油の暖房があるが廊下等は寒い。トイレについては1カ所で園児と職員が共用している。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2)		a)	<input checked="" type="checkbox"/> 9 内装等には、木材を利用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 10 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 11 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 12 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。	
			一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 13 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 14 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 15 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 16 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 17 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。 <input checked="" type="checkbox"/> 18 せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要以上に手を出さない等、子どもの自主性を大切にされた保育が実施されている。 ・子どもが疑問に思った事などについて、できる限り、自分たちで科学的な視点で考えられる様にしている。 ・言葉で十分表現できない場合は、観察からくみ取っている。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2)	<p>子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。</p>	a)	<p><input checked="" type="checkbox"/> 19 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 20 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 21 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 22 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 23 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。</p>	<p>・危険なこと、迷惑をかけること、怪我をしないことについて、子どもが理解できる様に話している。</p> <p>・「～○○だからこうだ。」と決めつけないで子どもの自主性を尊重する援助を行っている。</p> <p>・年齢により、生活習慣の対応の仕方をカードやポスターなどで表すなどの工夫をしている。例えば、手洗いの方法について、イラストを用いて掲示し、言葉を足すことにより理解してもらえる様に工夫している。</p>
			<p>子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	a)	<p><input checked="" type="checkbox"/> 24 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 25 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 26 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 27 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 28 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 29 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 30 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 31 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 32 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。</p>	<p>・「やまほいく」に認定されている保育活動は、身近な自然とのふれあい屋外で遊ぶ時間を十分に確保している。「ネイチャーゲーム」は、飯田女子短期大学の助教授を招いてクイズやゲームを通じて、動物の生態や自然環境への理解を深め、自主的・自発的な遊びを行っている。</p> <p>・自然の素材（木の実や葉）で作った作品が廊下にあふれている。スケートが戸外で行われていたり様々な遊びを取り入れた保育が行われている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2)		<input checked="" type="checkbox"/>	33 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。	
			乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	—	34 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。	0歳児は受け入れていない。
—	35 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係（情緒の安定）が持てるよう配慮している。					
—	36 子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。					
—	37 0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。					
—	38 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。					
—	39 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。					
		3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/>	40 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分ですらとする気持ちを尊重している。	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や送迎時に保護者と綿密に連携し、特に発熱時などの体調不良時は、こまめに観察し対応している。 ・家庭的で安心して楽しく生活できる様に保育士同士連携して実施している。 ・家庭にお願いすることは、連絡帳を活用しているが、連絡帳を見ない家庭には、お弁当にふせんを貼ってお願いしている。
<input checked="" type="checkbox"/>	41 探索活動が十分に行えるような環境を整備している。					
<input checked="" type="checkbox"/>	42 子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。					
<input checked="" type="checkbox"/>	43 子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。					
<input checked="" type="checkbox"/>	44 保育士等が、友だちとの関わりの仲立ちをしている。					

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント		
A	1	(2)		<input checked="" type="checkbox"/>	45	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。		
				<input checked="" type="checkbox"/>	46	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。		
			3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/>	47	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ手を出さずに、自分で考えてできる様に積み重ねを大切に見守る方針で子どもの話を聞く、トラブルが起きた時は、介入するがお互いが納得できる様にしている。 ・集団遊び、わらべ歌など子どもが今したい事、興味のある事、熱中できることを大切に展開している。 ・チームやグループで行う駅の壁面飾り制作や発表会などを通して皆で達成感を味わえる様にしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>		48	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。		
			<input checked="" type="checkbox"/>		49	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。		
			<input checked="" type="checkbox"/>		50	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。		
			障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/>	51	建物・設備など、障がいに応じた環境整備に配慮している。	<ul style="list-style-type: none"> ・町立保育園であり、関連機関との連携が充実している。クールダウンの部屋を用意している。障がいのある子どもが、他の子どもとの生活を通じて、共に成長できるような支援体制が整っている。発達支援専門員との面談、加配保育士の支援、臨床心理士等の相談の支援をしている。また、こども発達支援事業所「若草園」では保護者同伴での通園、単独通園、保育園との並行通園が可能である。職員研修もされており、経験と知識を蓄積している。
			<input checked="" type="checkbox"/>		52	障がいのある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。		
			<input checked="" type="checkbox"/>		53	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。		
			<input checked="" type="checkbox"/>		54	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。		
<input checked="" type="checkbox"/>	55	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。						

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2)			<input checked="" type="checkbox"/> 56 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 57 職員は、障がいのある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。 <input checked="" type="checkbox"/> 58 保育所の保護者に、障がいのある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。	
			それぞれの子ども在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 59 1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 60 家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 61 町立保育園であり、関連機関との連携が充実している。障害のある子どもが、他の子どもとの生活を通じて、共に成長できるような支援体制が整っている。発達支援専門員との面談、加配保育士の支援、臨床心理士等の相談の支援を年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 62 <input checked="" type="checkbox"/> 63 子どもの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 64 子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 65 担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。	<p>・長時間保育は、年齢の異なる子供たちが同じ部屋で過ごしているが、一人ひとりがゆっくり過ごせる環境としっとり遊びこめる玩具・遊具を提供し、楽しく過ごさせている。</p> <p>・担任からの担当保育士への申し送りにより、保護者のお出迎え時への伝達を確実にしている。年度末は引継書に基づいて引継ぎをしている。また代替えの保育士へはメモで引継ぎをしている。</p>
			小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/> 66 計画の中に小学校との連携や就学に関する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 67 子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。	<p>・近隣の小学校の音楽会の見学や、運動会の旗拾い、給食参観等により、小学校生活に不安を抱かぬような配慮をしている。また、保小連絡会を計画的に行い、入学に際する情報の共有に努めている。</p> <p>・コロナ禍で交流ができないがビデオレターなどで工夫している。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(2)		a)	<input checked="" type="checkbox"/> 68 保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。 <input checked="" type="checkbox"/> 69 保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 70 施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。	
		(3) 健康管理	子どもの健康管理を適切に行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 71 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 72 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 73 子どもの保健に関する計画を作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 74 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。 <input checked="" type="checkbox"/> 75 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 76 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 77 職員に乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 78 保護者に対し、乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する必要な情報提供をしている。	<p>・一人一人の子どもの健康状態をマニュアルにそって日々把握するとともに、保護者からの情報は朝会で職員全員で共有している。</p> <p>年間計画の中に年2回の歯科検診・健康診断を入れ年長児は視力検査も実施している。歯科衛生士や保健師と連携している。フッ化物洗口を保護者の同意を得て行っている。栄養状態については栄養士と相談している。</p> <p>・入園前の面談用の「お尋ね票」でSIDSの理解を確認し、必要に応じて保護者に説明している。1歳児・2歳児は15分に1回の呼吸チェックをしている。</p>
			健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。		<input checked="" type="checkbox"/> 79 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。	<p>・健康診断・歯科健診の結果は保護者にお知らせしている。また、3歳児以上は親子で歯科指導をしている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1	(3)		a)	<input checked="" type="checkbox"/> 80 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 81 家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。	
			アレルギー・疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 82 アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 83 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 84 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 85 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 86 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。 <input checked="" type="checkbox"/> 87 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。	<p>・食物アレルギーがある場合、「アレルギー対応ガイドライン」に従い医師指示書に基づき除去食等の対応を行っている。朝礼で毎日アレルギー代替え食の確認を職員全員で行い、また、アレルギー食はお盆で識別して提供し、間違いが無いように管理している。</p> <p>・保育室にはエビペンや禁食、対応の仕方がわかる様に掲示されている。エビペンの使用方法については定期的に研修して対応できるよう配慮している。</p>
		(4) 食事	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 88 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 89 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 90 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 91 食器の材質や形などに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 92 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。	<p>・箕輪町の「年間食育計画」に沿って、年齢ごとの食育を推進している。3歳未満児は完全給食で午前・午後のおやつを提供している。3歳児以上は「ごはん」を持参であるが、保温器で温めて、温かい食事を提供している。食事時間もゆったり1時間かけ、食べ残しを減らすように意識付けし食事量を確認している。</p> <p>・プリンターでバセリなどを育て、給食で提供したりしている。</p> <p>・園長が毎日提供30分前に検食を実施している。</p> <p>・メニューを毎日廊下に書き出している。また、献立表を発行し、毎月の「給食だより」を発行し、毎日の食事のメニューは写真でホームページにわかるように取り組んでいる。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1	(4)			<input checked="" type="checkbox"/> 93 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 94 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 95 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。	
			子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 96 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 97 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 98 食事の内容は、県産の農畜産物等を利用したものとしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 99 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。 <input checked="" type="checkbox"/> 100 季節感のある献立となるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 101 地域の食文化や行事食などを取り入れている。 <input checked="" type="checkbox"/> 102 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 103 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。	<p>・箕輪町として地産地消に取り組んでおり、なるべく地域の食材を取り入れるようにしている。また、給食部会で、季節感のある献立となるように毎月検討している。</p> <p>・毎日の残食を報告し、献立に反映している。苦手な食べ物は無理強いせず、食べる量を自分で決めるよう対応している。行事食は、放送で知らせている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	2 子 育 て 支 援	(1) 家庭との緊密な連携	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 104 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 105 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 106 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 107 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	・保育参加（一日保育士）や自由参観日を設け、保護者が園での子どもの様子を見る機会を提供している。 ・連絡帳やお便り・保育支援システム「コドモン」により日常的に家庭と連携できるようになっている。連絡帳には基本的な子どもの様子やエピソードを書くようにしている。トラブル等の事実は伝えるが慎重な声かけをお願いしている。
		(2) 保護者等の支援	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 108 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 109 保護者等からの相談に応じる体制がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 110 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 111 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 112 相談内容を適切に記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 113 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。	・箕輪町では、保育支援システム「コドモン」を利用している。保護者アプリをダウンロードし、パスワード登録することにより、アプリ上で欠席・遅刻の連絡ができる。保育園からはおたより、「コドモン」、メール配信等により行われている。保護者からは連絡帳はもちろん朝夕の送迎時のコミュニケーションを大切にしている。 ・長時間保育などで普段会話する機会のない場合には、希望個人懇談などに園側から声をかけて懇談し信頼関係につながっていくようにしている。また、子どもの変化をきちんと伝え、安心感を育んでいる。 ・コロナ禍で参観日が減っているが、密にならないように3部制にして発表会や祖父母参観を実施し工夫している。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	2	(2)	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 114 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 115 虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 116 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 117 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 118 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 119 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 120 マニュアルにもとづく職員研修を実施している。	・「虐待防止マニュアル」があり子どもの心身の状態や家庭での養育の状況を、日々のコミュニケーションや子どもの姿から常に把握している。箕輪町子ども未来課内に「こども相談室」があり保健師・家庭相談員・発達支援専門員・教育相談員等が随時各種相談を受け付けている。また、外部研修や園内研修により、虐待等権利侵害の早期発見・早期対応をする能力の向上に努めている。特に身体測定の際は気を付けて観察している。
A	3 保育の質の向上	(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 121 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り（自己評価）を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 122 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 123 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 124 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 125 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 126 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。	・箕輪町の自己評価票は、専門項目が設けられており、アプローチカリキュラムに従い保育士の活動に適した評価を行い園長に提出している。また、各種研修などはコロナ禍で少ないが、オンラインにより研修や復命書の資料の閲覧購読で対応し専門性の向上に努めている。短時間雇用の保育士のオンラインの研修については更に積極的な研修受講を期待する。 ・今後は職員個別の自己評価だけでなく、職員相互の話し合い等を通じ、第三者評価項目を斟酌し保育園全体としての自己評価を行い、良いところ、努力すべき点を把握し、次のステップに向けて課題を共有し保育所全体で改善に努めていくことを期待する。